

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1491000012	実施年度	令和7年度
法人名	有限会社 ケアームディカルことり		
事業所名	グループホーム ことりの森		
所在地	(245 - 0051) 横浜市戸塚区名瀬町 613-1		
サービス種別	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 <input checked="" type="checkbox"/> 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員	計 18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和8年1月20日	評価結果 市町村受理日	令和 年 月 日

2. 運営推進会議開催日時・場所

日時	令和8年1月29日 14時30分～	場所	ことりの森 2F リビング
----	-------------------	----	---------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人数
委員	利用者又は利用者の家族	2人
	地域住民の代表者	2人
	当該サービスに知見を有する者	1人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1人
事務局	管理者	1人
	計画作成担当者	1人
	介護従業者	1人

4. 事業所の特徴

<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行っている季節感のある行事に利用者、職員が準備段階より、熱心に取り組んでいる ・毎月作成し、ご家族にお送りしている『ことりの森たより』は行事を中心に利用者の方のご様子を写真入りでお伝えしている。 ・年に5～6回は車に乗って様々な場所へ外出。ホームが所持している『ことり農園』は定番の外出先となり、季節の野菜収穫を利用者皆が楽しみにしている。 ・月1回、医師の往診があり、体調を崩したときは医師と連携を取合える関係を確保している。また、定期的な訪問看護師によるバイタルチェックや等を実施。 ・職員の離職が少なく、顔なじみの安心した雰囲気ができている。 ・表札をはじめ、ほとんどの物が手作りで温かみのある空間づくりを心掛けている。 ・リビングから見える『市民の森』の景色は利用者、職員皆の心を和ませてくれている。 ・ホームページは、行事を行う度に写真付きのブログを更新している。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

(1F かえでユニット)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスや日々の申し送りの際など、話し合いの場では常に運営理念が念頭に置かれている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に入会しており、外気浴や外出の際に近所の方々と挨拶を交わしている。運営推進会議で地域の方々へ認知症の人の理解や支援方法などの共有に努めている。	運営推進会議では民生委員や包括支援センター職員さんやケアマネージャーの方々との情報交換ができており、開かれた施設であると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議は概ね2ヶ月に1回開催し、ご家族や地域の方々、地域包括支援センターの職員との話し合いも活発に行われ、サービスの向上に繋がっている。	運営推進会議を定期的に関催し、提供しているサービス内容の報告を行うとともに、必要に応じて意見交換や他グループホームの取り組み紹介を通じて情報共有を図り、具体的な改善への取り組みにつながっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	区の高齢・障害支援課や生活支援課、地域包括支援センターへ積極的に相談などを行いながら、協力関係を築くように努めている。	地域包括支援センターの3職種がそれぞれの立場で推進会議に参加し、顔の見える関係づくりを行うとともに、市町村担当者も含めて積極的に連携を図り、協力関係の構築に努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市へ身体拘束廃止の取組について、基準順守の誓約の届出を『基準型』として行っており、算定要件を理解し、定期的に委員会や研修会を開催してケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1度の委員会や研修会を行い、禁止となる具体的な行為を正しく理解してケアに取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し、委員会での検討結果を全職員で周知。定期的な研修会を行い、虐待や虐待の見逃しがないように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止関連法を理解し、家族との連絡をとり、防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用している入居者は現在1名おり、司法書士の方と連絡を取り合いながら制度の理解を高め、活用している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パンフレットに理念を一番に記載し利用者やご家族などに説明を行っている。また、重要事項説明書もホーム玄関に掲示しており、見学・面接・入居時に十分に説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは日常で、家族等からは電話や面会時に意見や要望を頂き、運営に反映させ、運営推進会議などで報告し、さらに意見・要望を確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からの意見は日頃から良く話を聞き、家族へは面会時や推進会議などの際に、しっかり報告できている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスや毎日の申し送りなどで日常的に意見交換を行い、可能な限りその意見や提案を運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスにおいて全職員への指導・助言を行うと共に、日常では個々の職員へ状況に応じた声掛け施行にて前向きに勤務出来るような環境づくりに努めている。また、個々の能力や実績に応じた給与水準を定めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方々が笑顔で働き、離職率がないことから働きやすい環境だと理解できる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の力量や能力、適性を把握し、日常的にトレーニングを行うと共に内部研修会や外部研修会に参加してもらうように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近外部研修は減っているが、オンラインの研修は受けやすくなっているので、今後期待したい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症などの流行状況をみながら外部研修会の参加などにてネットワークづくりを行ってもらい、サービスの質向上に繋げている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の家事やレク、季節に応じた行事やその準備を職員と入居者が一緒に行い、同じ思いや目標、感動や達成感を共にする事で家族の様な関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会にて馴染の方々との関係が途切れないように努めている。また、外出や外泊も希望があれば対応している。			コロナやインフルエンザなど感染症の脅威により面会や外出に一定の制限がある中でも、可能な範囲での対応を行い、面会やイベントへの家族参加を通じて関係が途切れないよう努めている。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意見などを傾聴すると共に認知症の為、言葉と気持ちに違いがある事が多い為、行動や表情の観察、生活歴や入居前の生活環境も視野に入れた上で本人の意向を見極めて対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いをもとに職員や往診Dr、看護師の意見を盛り込んだ介護計画書を本人や家族に確認して頂き、意見や要望、アイデアを取り入れて現状に即した介護計画を作成している。	個別支援を重視し、現状に即した適切な介護計画が問題なく作成されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族はもちろん、往診 Dr や職員のアイデアを取り入れて介護計画が作成されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間ごとにケアの実践・結果、気づきなどを個別に記録し、毎日の申し送りなどにて職員間で情報を共有し、カンファレンスにて話し合い、介護計画に反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の状態をチェックし、情報の共有ができています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者が職員と同様に個々の入居者の状況を把握している為、その時々ニーズへの対応は柔軟且つ速やかに行っている。	入居者との関わりを積極的に持ち、その人らしさを大切にした支援を行うとともに、本人や家族のニーズに応じて臨機応変に対応できている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の際など、地域包括支援センターの職員や地域住民との交流や情報交換にて、地域資源の把握に努め、入居者のQOL向上に役立っている。	一人ひとりの暮らしを支える地域資源を把握し安心して生活につなげている一方で、地域行事への参加は難しくなっている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1回/月の往診・処方、定期的な検査。Drとの日常的な電話相談にて適切な医療を受けられるように支援している。希望があれば馴染のかかりつけ医への受診も家族の協力があれば可能である。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際から入院先のHPや家族との情報交換を積極的に行い、本人や家族の意向を聞き入れながら早期の退院に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が安心して治療、退院ができるよう病院関係者との情報共有や連携を図っている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時期に合わせて本人や家族、往診Drや看護師などと話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明し、納得して頂いた上で支援の方針を決めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重度化した場合の対応を本人、家族に伝えると共に、都度話し合いが行われている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修や外部研修、日々の申し送りの中で、必要に応じて指導や訓練を行い、職員全員に実践力を身につけてもらっている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災・避難訓練は定期的に行い、方法などは全職員が身につけている。また、地域の消防署員の施設内外の見学にて避難経路の確認等にて協力体制も築いている。	避難場所も遠く、入居者を非難させるのは難しい。施設内での安全確保が必要。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署員の見学により、安全確保や避難できる方法を職員が身につけている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや毎日の申し送りの際などに話し合いを行ながら、個々の入居者に適した配慮や言葉遣いを心掛け、全職員が同様の対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に合わせた言葉遣いで人格を尊重している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常から一人ひとりのペースを大切にケアを実践している。その日の過ごし方は強要せず、提案や促しの対応を行っているが、希望があれば、それに沿えるように努力している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みの味付けや季節に合った食事を提供し、食事中のゆったりした時間や会話を大切にするように心掛けている。食後の片付けは当番制を設けているが、皆が率先して行って下さり、その際の会話も楽しまれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節のイベントの食事などで食事を楽しんでいる。片付けも皆で楽しみながら行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食、食事・水分摂取量をチェックし、状態把握に努めている。また、個々の心身の状態にあわせて栄養バランスの調整を補助食品などにて行っている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、義歯の手入れ、歯磨き、うがいなどがしっかり行える様に支援している。夜間は義歯をお預りし、洗浄剤使用にて清潔を保って頂いている。また、2回/日にイソジンうがいを行って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行い、口の中がキレイでいられるようにケアが行えている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々の排泄タイミングにあった支援を心掛け、失禁を減らす対応を行っている。排便に関しては日々の食事や運動、Drとの相談にて個々の排便コントロールを行い、便秘予防を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の記録用のチェックシートを活用し、排便コントロールを行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々の希望やタイミングに合わせた入浴が出来るように努めているが、時間帯に関してはどうしても制限が出来てしまうのが現状である。入浴中の会話や入浴剤の使用にて入居者の皆様は入浴を楽しんで下さっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の中でメリハリをつけ、外気浴や体操、レクリエーションにて体内時計を自然に身につけて頂くと共に、居室の環境整備などにて全入居者が良眠できるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の目的や副作用、服薬はDrや看護師の指導の下、全職員が十分に理解して状態変化の観察や支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬を一包化して管理し、薬の副作用の観察やなども十分に行えている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に適した役割を持って頂いたり、意向を聴いて、レクリエーションを行って楽しみや張り合いのある日常を過ごして頂けるように支援している。	個別支援を心がけ全員への対応は難しい面もあるが取り組みを継続しつつ、季節に応じたレクリエーションを実施し楽しみのある生活につなげている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者のその日の希望にそった外出の支援は出来ていないのが現状であるが、個々の希望を把握し、外出の計画を立てたり、家族の協力を得られるように支援するように努めている。	個別支援を心がけ、全員への対応は難しい面もあるが取り組みを継続しつつ、個々での外出が難しい中でも外出計画を立て、戸外に出かけられるよう努めている。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があり、管理が可能な入居者であれば、個人でお金を所持して頂き、外出の際に買い物をして頂ける様な支援を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手紙や電話のやり取りは相手先の状況などを十分に考慮した上で、個々の入居者の状況や希望に沿って支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部はバリアフリーで、生活スペースには手摺りが完備されており、活用して頂くように支援している。また、フロアには転倒リスクに繋がるような物品を置かないように配慮し、安全安心に生活できるように努めている。フロア内は心地よい色合いや温かみのある物を選び、飾付けも入居者と一緒に行うなどして、居心地の良い空間づくりを心掛けている。		A. <u>充分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は広々としていて日当たりも良く、壁には季節の飾りがあったりと、居心地の良い空間になっている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の意向をくみ取り、グループホームで出来ることを精一杯行いつつ、本人が納得した上で生活して頂いている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に必ず、本人及び家族の協力の下、生活歴や家族の状況、認知症経過シートなどを記載して頂いたり、医療機関や介護事業所からの情報収集を行ってケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で言動やバイタルサインなどの些細な変化を見逃さないように努め、その時々に応じたケアを実践している。		A. <u>充分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録やチェック表にてケア・支援を受けることができている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の入居前までの暮らしの習慣を尊重しながら、グループホームでの共同生活が自然と本人のペースや生活リズムとなるように日々のケアを行っている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に十分に説明を行い、なじみのものや大切にしているものを自室などへ持ち込んで頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ぬいぐるみやタンス、仏壇など、大切にしている物を部屋に持ち込んでいます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向や希望によって、外出等の計画を立てたり、家族に協力を頂いて対応を行っている。	個々の希望を把握・確認した上で外出計画を立てていることがうかがえ、農園への外出や収穫体験などの行事にも参加できている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に適した役割を持って頂いたり、意向を聴いて、レクリエーションを行って楽しみや張り合いのある日常を過ごして頂けるように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者の意向や嗜好を把握し、毎日のレクリエーションを工夫したり、談話の際の話題作りを行う事で、皆がいきいきと過ごせるように支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者の意向や嗜好を行事などで取り入れて日々の暮らしの中で楽しんでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は近隣のグループホームとの交流や地域のイベントへ参加などしていたが、コロナ禍以降、近隣や地域の人々との関わりは少なくなっている。	現在は交流の機会が減少しておりコロナ以降地域行事も減少傾向にある中で交流は難しい状況だが、お花見やイベントへの参加ができるよう努めている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の皆様は『ことりの森』の生活にて健康・医療・環境・交友面などで、よりよい日々をおくって頂いていると自負している。	ことりの森たよりから入居者の笑顔が印象的で、職員との関わりや医師の指導のもと、安心して楽しい日々を送れていることがうかがえる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のたよりから、職員と入居者の間に親しみのある信頼関係が築かれている様子が見え、安心して穏やかに過ごされていることが感じられる。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

(2Fもみじユニット)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスや日々の申し送りの際など、話し合いの場では常に運営理念が念頭に置かれている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に入会しており、外気浴や外出の際に近所の方々と挨拶を交わしている。運営推進会議で地域の方々へ認知症の人の理解や支援方法などの共有に努めている。	運営推進会議では民生委員や包括支援センター職員さんやケアマネージャーの方々との情報交換ができており、開かれた施設であると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議は概ね2ヶ月に1回開催し、ご家族や地域の方々、地域包括支援センターの職員との話し合いも活発に行われ、サービスの向上に繋がっている。	運営推進会議を定期的に行い、提供しているサービス内容の報告を行うとともに、必要に応じて意見交換や他グループホームの取り組み紹介を通じて情報共有を図り、具体的な改善への取り組みにつながっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	区の高齢・障害支援課や生活支援課、地域包括支援センターへ積極的に相談などを行いながら、協力関係を築くように努めている。	地域包括支援センターの3職種がそれぞれの立場で推進会議に参加し、顔の見える関係づくりを行うとともに、市町村担当者も含めて積極的に連携を図り、協力関係の構築に努めている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市へ身体拘束廃止の取組について、基準順守の誓約の届出を『基準型』として行っており、算定要件を理解し、定期的に委員会や研修会を開催してケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に1度の委員会や研修会を行い、禁止となる具体的な行為を正しく理解してケアに取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を設置し、委員会での検討結果を全職員で周知。定期的な研修会を行い、虐待や虐待の見逃しがないように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止関連法を理解し、家族との連絡をとり、防止に努めている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度を利用している入居者は現在1名おり、司法書士の方と連絡を取り合いながら制度の理解を高め、活用している。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パンフレットに理念を一番に記載し利用者やご家族などに説明を行っている。また、重要事項説明書もホーム玄関に掲示しており、見学・面接・入居時に十分に説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは日常で、家族等からは電話や面会時に意見や要望を頂き、運営に反映させ、運営推進会議などで報告し、さらに意見・要望を確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からの意見は日頃から良く話を聞き、家族へは面会時や推進会議などの際に、しっかり報告できている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスや毎日の申し送りなどで日常的に意見交換を行い、可能な限りその意見や提案を運営に反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスにおいて全職員への指導・助言を行うと共に、日常では個々の職員へ状況に応じた声掛け施行にて前向きに勤務出来るような環境づくりに努めている。また、個々の能力や実績に応じた給与水準を定めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の方々が笑顔で働き、離職率がないことから働きやすい環境だと理解できる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の力量や能力、適性を把握し、日常的にトレーニングを行うと共に内部研修会や外部研修会に参加してもらうように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近は外部研修は減っているが、オンラインの研修は受けやすくなっているので、今後期待したい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症などの流行状況をみながら外部研修会の参加などにてネットワークづくりを行ってもらい、サービスの質向上に繋げている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の家事やレク、季節に応じた行事やその準備を職員と入居者が一緒に行い、同じ思いや目標、感動や達成感を共にする事で家族の様な関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会にて馴染みの方々との関係が途切れないように努めている。また、外出や外泊も希望があれば対応している。			コロナやインフルエンザなど感染症の脅威により面会や外出に一定の制限がある中でも、可能な範囲での対応を行い、面会やイベントへの家族参加を通じて関係が途切れないよう努めている。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意見などを傾聴すると共に認知症の為、言葉と気持ちに違いがある事が多い為、行動や表情の観察、生活歴や入居前の生活環境も視野に入れた上で本人の意向を見極めて対応している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いをもとに職員や往診Dr、看護師の意見を盛り込んだ介護計画書を本人や家族に確認して頂き、意見や要望、アイデアを取り入れて現状に即した介護計画を作成している。	個別支援を重視し、現状に即した適切な介護計画が問題なく作成されている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族はもちろん、往診 Dr や職員のアイデアを取り入れて介護計画が作成されている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間ごとにケアの実践・結果、気づきなどを個別に記録し、毎日の申し送りなどにて職員間で情報を共有し、カンファレンスにて話し合い、介護計画に反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1人1人の状態をチェックし、情報の共有ができています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者、管理者が職員と同様に個々の入居者の状況を把握している為、その時々ニーズへの対応は柔軟且つ速やかに行っている。	入居者との関わりを積極的に持ち、その人らしさを大切に支援を行うとともに、本人や家族のニーズに応じて臨機応変に対応できている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の際など、地域包括支援センターの職員や地域住民との交流や情報交換にて、地域資源の把握に努め、入居者のQOL向上に役立っている。	一人ひとりの暮らしを支える地域資源を把握し安心した生活につなげている一方で、地域行事への参加は難しくなっている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1回/月の往診・処方、定期的な検査。Drとの日常的な電話相談にて適切な医療を受けられるように支援している。希望があれば馴染のかかりつけ医への受診も家族の協力があれば可能である。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院した際から入院先のHPや家族との情報交換を積極的に行い、本人や家族の意向を聞き入れながら早期の退院に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が安心して治療、退院ができるよう病院関係との情報共有や連携を図っている。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時期に合わせて本人や家族、往診Drや看護師などと話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明し、納得して頂いた上で支援の方針を決めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に重度化した場合の対応を本人、家族に伝えると共に、都度話し合いが行われている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修や外部研修、日々の申し送りの中で、必要に応じて指導や訓練を行い、職員全員に実践力を身につけてもらっている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防災・避難訓練は定期的に行い、方法などは全職員が身につけている。また、地域の消防署員の施設内外の見学にて避難経路の確認等にて協力体制も築いている。	避難場所も遠く、入居者を非難させるのは難しい。施設内での安全確保が必要。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署員の見学により、安全確保や避難できる方法を職員が身につけている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスや毎日の申し送りの際などに話し合いを行ながら、個々の入居者に適した配慮や言葉遣いを心掛け、全職員が同様の対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に合わせた言葉遣いで人格を尊重している。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常から一人ひとりのペースを大切にケアを実践している。その日の過ごし方は強要せず、提案や促しの対応を行っているが、希望があれば、それに沿えるように努力している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好みの味付けや季節に合った食事を提供し、食事中のゆったりした時間や会話を大切にするように心掛けている。食後の片付けは当番制を設けているが、皆が率先して行って下さり、その際の会話も楽しまれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節のイベントの食事などで食事を楽しんでいる。片付けも皆で楽しみながら行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食、食事・水分摂取量をチェックし、状態把握に努めている。また、個々の心身の状態にあわせて栄養バランスの調整を補助食品などにて行っている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、義歯の手入れ、歯磨き、うがいなどがしっかり行える様に支援している。夜間は義歯をお預りし、洗浄剤使用にて清潔を保って頂いている。また、2回/日にイソジンうがいを行って頂いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行い、口の中がキレイでいられるようにケアが行えている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々の排泄タイミングにあった支援を心掛け、失禁を減らす対応を行っている。排便に関しては日々の食事や運動、Drとの相談にて個々の排便コントロールを行い、便秘予防を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の記録用のチェックシートを活用し、排便コントロールを行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく個々の希望やタイミングに合わせた入浴が出来るように努めているが、時間帯に関してはどうしても制限が出来てしまうのが現状である。入浴中の会話や入浴剤の使用にて入居者の皆様は入浴を楽しんで下さっている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の中でメリハリをつけ、外気浴や体操、レクリエーションにて体内時計を自然に身につけて頂くと共に、居室の環境整備などにて全入居者が良眠できるように支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の目的や副作用、服薬はDrや看護師の指導の下、全職員が十分に理解して状態変化の観察や支援を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬を一包化して管理し、薬の副作用の観察やなども十分に行えている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に適した役割を持って頂いたり、意向を聴いて、レクリエーションを行って楽しみや張り合いのある日常を過ごして頂けるように支援している。	個別支援を心がけ全員への対応は難しい面もあるが取り組みを継続しつつ、季節に応じたレクリエーションを実施し楽しみのある生活につなげている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者のその日の希望にそった外出の支援は出来ていないのが現状であるが、個々の希望を把握し、外出の計画を立てたり、家族の協力を得られるように支援するように努めている。	個別支援を心がけ、全員への対応は難しい面もあるが取り組みを継続しつつ、個々での外出が難しい中でも外出計画を立て、戸外に出かけられるよう努めている。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望があり、管理が可能な入居者であれば、個人でお金を所持して頂き、外出の際に買い物をして頂ける様な支援を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手紙や電話のやり取りは相手先の状況などを十分に考慮した上で、個々の入居者の状況や希望に沿って支援を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部はバリアフリーで、生活スペースには手摺りが完備されており、活用して頂くように支援している。また、フロアには転倒リスクに繋がるような物品を置かないように配慮し、安全安心に生活できるように努めている。フロア内は心地よい色合いや温かみのある物を選び、飾付けも入居者と一緒に行うなどして、居心地の良い空間づくりを心掛けている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は広々としていて日当たりも良く、壁には季節の飾りがあったりと、居心地の良い空間になっている。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の意向をくみ取り、グループホームで出来ることを精一杯行いつつ、本人が納得した上で生活して頂いている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に必ず、本人及び家族の協力の下、生活歴や家族の状況、認知症経過シートなどを記載して頂いたり、医療機関や介護事業所からの情報収集を行ってケアを行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で言動やバイタルサインなどの些細な変化を見逃さないように努め、その時々に応じたケアを実践している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護記録やチェック表にてケア・支援を受けることができている。
43		生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の入居前までの暮らしの習慣を尊重しながら、グループホームでの共同生活が自然と本人のペースや生活リズムとなるように日々のケアを行っている。		

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に十分に説明を行い、なじみのものや大切にしているものを自室などへ持ち込んで頂いている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ぬいぐるみやタンス、仏壇など、大切にしている物を部屋に持ち込んでいます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向や希望によって、外出等の計画を立てたり、家族に協力を頂いて対応を行っている。	個々の希望を把握・確認した上で外出計画を立てていることがうかがえ、農園への外出や収穫体験などの行事にも参加できている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者に適した役割を持って頂いたり、意向を聴いて、レクリエーションを行って楽しみや張り合いのある日常を過ごして頂けるように支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者の意向や嗜好を把握し、毎日のレクリエーションを工夫したり、談話の際の話題作りを行う事で、皆がいきいきと過ごせるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の入居者の意向や嗜好を行事などで取り入れて日々の暮らしの中で楽しんでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は近隣のグループホームとの交流や地域のイベントへ参加などしていたが、コロナ禍以降、近隣や地域の人々との関わりは少なくなっている。	現在は交流の機会が減少しておりコロナ以降地域行事も減少傾向にある中で交流は難しい状況だが、お花見やイベントへの参加ができるよう努めている。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の皆様は『ことりの森』の生活にて健康・医療・環境・交友面などで、よりよい日々をおくって頂いていると自負している。	ことりの森たよりから入居者の笑顔が印象的で、職員との関わりや医師の指導のもと、安心して楽しい日々を送れていることがうかがえる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のたよりから、職員と入居者の間に親しみのある信頼関係が築かれている様子うかがえ、安心して穏やかに過ごされていることが感じられる。

目標達成計画

事業所名	グループホーム ことりの森
作成日	令和 8年 3月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の機会が減少している状況においても、オンライン研修を積極的に活用しながら、職員一人ひとりの力量や適性に応じた学習機会を確保し、継続的なスキル向上とケアの質の向上を図る。	職員一人ひとりの力量や適性を把握するための定期的な面談や評価を行い、オンライン研修を含めた外部研修の受講機会を確保するとともに、内部研修やOJT、研修後の共有を通じて学びを現場に還元し、継続的なスキル向上につなげる。	1年
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

収受番号: 464

サービス評価結果提出届 (兼受理書)

健康福祉局介護事業指導課 あて

(太枠内のみ記入してください。)

提出日: 令和8年 3月 19日

届出者	サービス種別 (該当に○)	<input type="radio"/>	認知症対応型共同生活介護	<input type="radio"/>	介護予防 認知症対応型共同生活介護							
	事業所番号	1	4	9	1	0	0	0	0	1	2	
	事業所名	グループホーム ことりの森										
	事業所所在地	(〒245-0051) 横浜市戸塚区名瀬町 613-1										
	担当者名	佐藤 幸博										
	連絡先	電話	045-814-6071				FAX	045-814-6072				

次のとおり、資料を添えて提出します。

外部評価実施方法 ※実施した方法に○を記入してください	<input type="radio"/>	外部評価機関による評価	<input type="radio"/>	運営推進会議における評価	
外部評価受審結果表受理日又は 運営推進会議における評価実施日	令和 8年 1月 30日				
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価及び外部評価結果※(外部評価の緩和適用年度は自己評価のみ)		
		<input checked="" type="checkbox"/>	目標達成計画 (毎年度提出が必要です)		
		<input checked="" type="checkbox"/>	返信用封筒 (110円切手を貼り、返信先を明記した長3封筒)		

※運営推進会議における評価の場合は、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を提出してください。

外部評価の緩和適用年度に提出する自己評価は神奈川県が定める様式を活用して提出してください。

(以下は記入しないでください。)

次のとおり、サービス評価結果報告書を受理しました。

報告書受理日	8年3月23日		実施年度	7年度		
受理内容	<input type="radio"/>	自己評価結果	<input type="radio"/>	外部評価結果	<input type="radio"/>	目標達成計画
次回実施期限	9年3月31日					

<次回外部評価実施後、評価機関から受審結果表を受理した日から1か月以内に報告書を提出して下さい>

<この受理書は再発行しません。外部評価の緩和の適用を受ける際に必要なため、保管してください>

【発行】横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者:

